

The Japan Association of Chinese Language Education

中国語教育学会会報

第40号(通巻65号) 2014年7月31日発行

〒156-8550

東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部中国語中国語文化学科内
中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

- 一．第12回全国大会について
- 二．2014年度第1回理事会報告
- 三．会員総会報告
- 四．会員動向
- 五．研究会について
- 六．事務局からのお知らせ
- 七．資料

一．第12回全国大会について

中国語教育学会第12次全国大会が去る6月7日(土)・8日(日)の両日にわたり、東京都板橋区の大東文化大学板橋キャンパスにて開催されました。

初日の午前中に今年度第1回編集委員会及び理事会が開かれ、午後には会員総会、また引き続き「中国語教材のあゆみ 過去から未来へ」と題するシンポジウムが開かれました。その後、キャンパス内の「グリーンスポット」にて懇親会となりましたが、大東文化大学相撲部による「鶏塩ちゃんこ」がふるまわれたり、琉球民謡やカチャーシーの披露などもあって、楽しい会となりました。

2日目は3会場の分科会にて、午前・午後合わせて20本の発表が行われ、それぞれ有意義な討論が繰り広げられました。

今回の全国大会には非会員を含めて165名のご参加をいただき、内、懇親会には83名のご参加をいただきました。また14社の書店からの出店がありました。今回も盛会の内に無事終了いたしました。これもひとえに報告者・発表者・司会者の先生方、大会準備委員会の先生方及び関係の先生方と学生の皆様を始めとする、会員各位のご尽力とご協力の賜物であり、改めて厚く御礼申し上げます。

二．2014年度第1回理事会報告

日時：2014年6月7日(土)11:15～12:30

場所：大東文化大学板橋キャンパス 2号館2階20221大会議室

出席者：平井和之(会長)、西香織、藤井達也、村上公一(以上代表理事)、荒川清秀、植村麻

紀子、加藤晴子、金子眞也、清原文代、胡興智、陳淑梅、丸尾誠、三宅登之、山田眞一、
佐々木勲人、田邊鉄、島田亜実（幹事）、原正人（前年度幹事）

〔報告事項〕

1. 2013年度決算報告案について原前年度幹事より説明があった。
2. 2014年度予算案について平井会長より説明があった。
3. 現会員数、新入会員、除籍予定会員について平井会長より報告があった。
4. 会費納入状況について平井会長より報告があった。
5. 教育学会名義のゆうちょ銀行普通口座を開設したこと、また、今後は会費を基本的に当該口座で管理し、記帳して記録を残すこととし、振替口座は会費納入用のみとして使用する旨、平井会長より報告があった。
6. 会費納入払込票を同封した会報第39号を発送した旨、また今回は時間の関係でサラト（印刷会社）を通さずに事務局から直接郵送した旨、平井会長より報告があった。
7. 本理事会に先立って行われた編集委員会（同じ場所にて10:00～11:00、出席者：佐々木勲人、白銀志栄、西川和男、藤井達也、奥田寛、田邊鉄、桑野弘美（幹事））で議論された『中国語教育』投稿規定改定案及び投稿票案について、佐々木編集委員長より説明があった。
8. 7月12日に日本大学にて研究会を開催する旨、また、夏季セミナーを企画中（8月23日（土）か24日（日）開催予定）である旨、村上代表理事より報告があった。（夏季セミナーについては、8月24日（日）早稲田大学早稲田キャンパスにて開催することとなった。）
9. 今年度第2回理事会及び編集委員会は2014年12月13日（土）に開催予定である旨、平井会長より報告があった。

〔審議事項〕

1. 2013年度決算報告案、および2014年度予算案が承認された。
2. 『中国語教育』投稿規程の以下の改定について議論し、承認された。
 - ・第4条：投稿締切期日を10月31日に固定する。紙媒体の送達をもって投稿とみなす。但し消印・受領印有効。
 - ・第5条：電子データの送り先（専用アドレス）を明記。紙媒体については執筆者名等を明記したものと伏せたものそれぞれ1部ずつを事務局に送付。
 - ・第6条：投稿票を作成し、その送り先を明記（電子データの送り先と同一）。
 - ・第11条（新設）：投稿原稿の著作権は、本学会に投稿された時をもって本学会に帰属する。但し、本学会が学会誌に掲載しないことを決定した場合、本学会は著作権を執筆者に返還する。執筆者が投稿原稿を利用する場合は、本学会の許諾を得るものとする。但し、営利を目的としない出版物や機関リポジトリ等に利用する場合、執筆者は本学会の許諾を得ることなく利用することができる。

なお、第11条中の「本学会の許諾」は形式的には「会長の許諾」となることを確認した。但し、現状では許諾請求の書式がまだできていない。また、第11条は著作権に関する最低限の規定であり、より詳細な規定が必要であれば、編集委員会ではなく、別途ワーキンググループを作って検討すべきであるという意見が編集委員長から表明された。

3. 2014～2015年度役員について、選挙得票数10位以内は自動的に理事を委嘱したが、中には辞退されたり、年齢制限で資格がない方もいらした旨、平井会長より説明があった。また、代表理事は選挙の得票数に依らず、担当を明確にしてお願いすることとし、研究会担当者として西先生、村上先生に（清原先生は研究会担当だが代表理事は辞退）、海外との連絡担当として古川先生に、高校中国語教育代表として藤井先生にお願いし、了承を得ている旨、平井会長より説明があり、承認された。また、民間中国語教育機関代表として、未だ了承を得ていないが、引き受けていただけるのであれば胡先生にも代表理事をお願いしたい旨、平井会長より説明があり、承認された。（後に胡先生から代表理事担当の了承があった。）
4. 事務局から顧問・名誉会員を推薦し、承認された。
5. 会費滞納3年度分計¥15000で除籍という規定は、会則に基づけば本来理事会へ諮る必要はないが、今回は昨年度に倣い¥20000滞納者へも会費請求をしたので一応この場で名前を報告する旨の発言が平井会長よりあった。
6. 2015年度全国大会を龍谷大学にて開催予定であり、同校の金子理事より内諾を得ている旨、報告があり、承認された。また、金子理事より、2015年6月6日(土)・7日(日)に龍谷大学深草学舎にて開催予定である旨、報告があった。また、大学からの助成が得られるよう、日本学術会議協力学術研究団体への加入の要請があり、平井会長から、加入手続を進める旨、回答があった。
7. 会則の以下の改定について議論し、承認された。なお、いくつかの点については既に理事会で決定されていたが、会員総会での承認を経ていないため、改めて提起するものである旨、平井会長から説明があった。
 - ・第3条：毎年1回の研究報告大会（以下「大会」と称する）および会員総会（以下「総会」と称する）の開催。
 - ・第9条（新設）：必要に応じて、各種委員会を設置することができる。委員長は必要に応じて理事会に出席する。但し議決権は有さない。
 - ・第12条（新設）：本会の内規等、会則以外の諸規定の改定は、理事会で決定する。
 - ・第13条：本会に事務局を置き本会の所在地とする。事務局は会務を処理する。事務局を置く機関は2年ごとの輪番制とする。
8. 名誉会員の決定と顧問の委嘱に関する内規の以下の改訂について議論し、承認された。
 - ・顧問の委嘱：「顧問の会費は免除する。」を加える。（実際には従来から徴収していなかった。）
 - ・名誉会員の決定：名誉会員は、年齢満70歳以上で、継続して15年以上本会会員であったものとする。なお、この規定は2017年4月1日より施行するものとする。……
9. 平井会長より、退会を希望する会員に未納分会費がある場合は除籍として処理すること、及び退会届の書式をウェブサイトに掲載する旨の提案があり、承認された。
10. 学会予算からの諸経費への支出について審議し、当面以下の通りとすることとした。
 - ・全国大会時に開かれる理事会・編集委員会等への交通費は支給しない。（従来通り）
 - ・全国大会時以外に開かれる理事会・編集委員会等への交通費は、会場所在地の都道府県、

- およびその隣接都道府県(北海道は隣接支庁)在住者へは交通費として一律¥2000支給する。
- ・それ以外の在住者の交通費(指定席代を含む)は原則として自己申告とする。
 - ・会議等が午前中に始まる場合、新幹線利用時間が2時間以上かかる場合には前泊料金として一律¥8000支払う(金額従来通り)。新幹線が利用できない場合、在来線(本線)利用時間で換算する。飛行機の場合、飛行機利用時間が1時間以上かかる場合に支給する。
 - ・以上の交通費・宿泊費は振込による後払いとする。

なお、以上については今回に限って承認。

- ・研究会等の開催費については、開催決定後、担当者から見込み申請をしてもらい、振込による渡切りとする。(現在は、¥5000単位で¥30000を限度として申請してもらう方式を試行中である。)

11.平井会長より、日本学術会議協力学術研究団体へ加入申請する提案があり、承認された。なお、同時に提案のあった言語系学会連合への加入は見送ることとした。

三．会員総会報告

日時：2014年6月7日(土)13:50～14:50

場所：大東文化大学板橋キャンパス 多目的ホール

〔議長選出〕

加藤晴子会員を議長として選出した。

〔報告事項〕

1. 2013年度決算報告案について原前年度幹事より説明があった。
2. 2014年度予算案について平井会長より説明があった。
3. 現会員数、新入会員数について平井会長より報告があった。
4. 会費納入状況について平井会長より報告があり、併せて会費納入について協力賜りたい旨、要請があった。
5. 今後の研究会・夏季セミナーの開催予定について村上代表理事より報告があった。
6. 郵送物の不着が目立ったことについて平井会長より陳謝があり、このような事態を避けるため、ウェブサイト住所等変更届の書式を掲載するので、今後はそれによって事務局に連絡していただきたい旨、要請があった。また、退会についても退会届の書式をウェブサイトに掲載する予定である旨、報告があった。

〔審議事項〕

1. 2013年度決算報告案(末尾資料参照)が承認された。
2. 2014年度予算案(末尾資料参照)が承認された。
3. 『中国語教育』投稿規程の改定について、佐々木編集委員長より説明があり、承認された。
4. 2014～2015年度役員候補について平井会長より説明があり、承認された。
5. 依藤醇会員及び佐藤富士雄会員に顧問を委嘱することが承認された。
6. 来年度より、岡田文之助会員、山本真味会員、西牧義江会員、山口和子会員を名誉会員とすることが承認された。なお、未納分の会費があるもう1名の有資格者については、その納入を

待って来年度より名誉会員として承認することとした。

7. 会則の改定について、平井会長から説明があり、承認された。
8. 内規の改定（名誉会員資格の在会年数を15年とすることを含む）が承認された。
9. 日本学術会議協力学術研究団体への加入申請が承認された。なお、言語系学会連合への加入は見送ることとした。
10. 2015年度全国大会を龍谷大学深草学舎にて開催することが承認された。また、開催校を代表して、金子理事から挨拶があった。

四．会員動向

2014年7月30日現在での会員数は493名（内顧問・名誉会員15名、住所不明者7名）です。なお、2014年度以降退会された方が1名いらっしゃいます。会報第39号発行時（2014年5月24日）以降の新入会員は以下の通りです。

林文慧（金沢学院大学）／永江貴子（拓殖大学）／中桐典子（成蹊大学・非）／三井明子（北京大学对外漢語教育学院・院）／永井崇弘（福井大学）／朝日出版社／康鳳麗（鈴鹿医療科学大学）／賈曦（東京国際大学）／路浩宇（名古屋大学・院）／福重一成（鹿児島国際大学・非）／李林静（成蹊大学）

五．研究会について

2014年7月12日(土)日本大学文理学部において、第1回研究会が開催されました。植村麻紀子・上村圭介（非会員）・藤井達也の諸氏により、

「グローバル人材育成のための外国語教育政策に関する提言 高等学校における複数外国語必修化に向けて」（日本言語政策学会多言語教育推進研究会）について

と題する発表が行われました。

第2回研究会は、「夏季セミナー」として、2014年8月24日(日)に早稲田大学早稲田キャンパスで開催されます。プログラムは以下の通りです。

11:00～ 12:30	シンポジウム：使役・受身をどう教えるか コーディネーター：陳淑梅（東京工科大学） 報告1「受身」を中心に：佐々木勲人（筑波大学） 報告2「使役」を中心に：三宅登之（東京外国語大学） ディスカッション
13:30～ 15:00	ワークショップ：中国語試験問題を作ってみよう グループで中国語検定3級の形式の試験問題を作り、作成した問題を発表し、相互に批評しあう。
15:15～ 16:15	座談会：中国語教育の現場の諸問題を考える テーマごとにいくつかのグループに分かれ、中国語教育に携わる中での工夫や問題について意見交換を行う。

参加費無料、当日参加も可能ですが、資料の準備等の都合上、なるべく事前に

<http://jacle.org/def-cgi/cmail.cgi?id=seminar>

からお申込みくださるようお願いいたします。希望する座談会のテーマも申込の際に是非ご自由にお書き添えください。

第3回研究会は「中国語教育・学習に関するワークショップ：レアリアのツボ、レアリアのチカラ～レアリアで学ぶ、教える中国語のために～第2弾」として、2014年10月25日(土)に愛知大学名古屋キャンパスで開催されます。プログラムは以下の通りです。

13:00～	会の主旨説明：レアリアを学ぶとは？ 中西千香（愛知県立大学）
13:20～ 13:50	事前レクチャー：レアリアの難しさとは？ 荒川清秀（愛知大学）
14:00～ 15:30	模擬授業（3クラスに分かれます） A：レシピで学ぶ、おいしい中国語 植村麻紀子（神田外語大学） B：新聞記事をつかって学ぶ 書きことばと話しことば、それから文化背景 塩山正純（愛知大学） C：漫画に学ぶ、日 中 / 中 日、翻訳の心得 明木茂夫（中京大学）
15:40～ 16:40	各授業についての討論

参加申込のウェブページを近日中に作成しますので、学会ウェブサイトにご注意ください。

六．事務局からのお知らせ

1．2014～2015年度役員・委員

会報第39号ですでに新役員を紹介をいたしました。その後の増減を含め、会員総会で正式に承認された役員名簿を以下に掲げます。

顧問：輿水優、佐藤富士雄、依藤醇

会長：平井和之

代表理事：胡興智、西香織、藤井達也、古川裕、村上公一

理事：荒川清秀、植村麻紀子、大川完三郎、加藤晴子、郭春貴、金子眞也、清原文代、佐々木勲人、田邊鉄、陳淑梅、三宅登之、丸尾誠、山田眞一

幹事：桑野弘美、島田亜実

会計監査：稲葉明子、豊嶋裕子

また、『中国語教育』第13号の編集委員は以下の通りです。

王占華、奥田寛（委員長代理）、佐々木勲人（委員長）、白銀志栄、田邊鉄、西川和男、藤井達也、森宏子

研究会担当理事は以下の通りです。研究会の企画や研究会での発表を希望される会員はそれぞれの専用メールアドレス宛ご連絡ください（「@」「.」は半角）。

村上公一（kanto@jacle.org）、清原文代（kansai@jacle.org）、西香織（kyushu@jacle.org）

2015年度大会準備委員は現在のところ以下の会員に委嘱しています。今後さらに委嘱することがあります。

金子真也（委員長）、西香織

2．住所不明者

以下の会員の住所が不明です。ご存知の方は事務局宛お知らせいただければ幸いです。

金子真生、陳昌柏、施瀧念、蘇雪蓮、方建萍、葉亞璇、別紅櫻

3．会費納入について

2014年7月30日現在で、すでに294名の会員から2014年度分までの会費を納入いただいております。ご協力に感謝申し上げます。一方未納の会員もまだ174名いらっしゃいますので、お早めに納入くださるようお願いいたします。未納会費が¥15000以上の方は特に大至急納入ください。会則により2年間以上滞納のある方は会員資格を失うこととなります。払込票を紛失された方は事務局宛ご連絡いただければご送付いたします。

4．各種届出書について

住所や所属等に変更があった会員は本会ウェブサイトにある「登録情報変更届」にて事務局宛ご連絡ください。また、退会される方もウェブサイトにある「退会届」を事務局宛ご郵送ください。退会時に未納会費がある場合は全て納入願います。納入なき場合は除籍として取り扱います。これらの届出書を用いずに郵便やメールでご連絡いただいたり、会費納入の払込票に変更等を記載されてもお取り扱いできません。

5．メールによる連絡について

経費節減のため、会員各位への諸連絡は今後なるべくメールを用いるようにしたいと考えておりますが、現状では事務局の原簿にメールアドレスの記載がある会員は多くありません。記載のある会員に対して、試みに8月24日の第2回研究会のお知らせを当日までメールで配信する予定でありますので、不着の方は上記届出書にてご連絡ください。

5．各種情報提供のお願い

中国語教育に関連する催し物（スピーチコンテスト・シンポジウム等）の情報がございましたらぜひお知らせください。本会ウェブサイトに掲載し、周知の一助とさせていただきます。

資料 2013年度決算報告案

中国語教育学会 2013 年度会計決算書

	収入	支出	
繰越金	¥3,399,613		
手数料		¥5,928	
事務費		¥753,480	
抜き刷り代	¥7,000		
諸会議費		¥16,603	※1
交通費		¥225,640	
全国大会開催費残額	¥261,095		※2
会誌印刷費		¥409,500	
幹事手当		¥200,000	
会誌売上(内山)			※3
会誌売上(会場)	¥24,750		
郵送費		¥68,308	
理事会弁当代		¥51,680	
学会費	¥2,125,000		差引:繰越金合計
合計	¥5,817,458	¥1,731,139	¥4,086,319

※1 預けていた金額を一度戻しているため。

※2 会計年度を遅く設定したため、全国大会開催費40万円は昨年度に計上している。

※3 内山書店における本年度の会誌売上は10,1500円だったが、引き継ぎ時にまだ振込がなかったため算入していない。

監査の結果、経理内容は適正であり、会計諸表は的確に処理されていることを認めます。

2014年 4月 26日

2013年度会計監査 中 佐美子

2013年度会計監査 石田 友美

資料 中国語教育学会2014年度予算案

	収入	支出
繰越金	¥4,086,319	
手数料		¥10,000
事務費		¥600,000
抜き刷り代	¥20,000	
諸会議費(含弁当代)		¥100,000 ¹
交通費		¥250,000
全国大会開催費		¥400,000
研究会等開催費		¥100,000 ²
会誌印刷費		¥450,000 ³
幹事手当		¥200,000
会誌売上	¥100,000	
郵送費		¥70,000
学会費	¥2,100,000	
合計	¥6,306,319	¥2,180,000
差引:繰越金	¥4,126,319	

(参考)中国語教育学会2013年度予算案

	収入	支出
繰越金	¥3,394,613	
手数料		¥10,000
事務費		¥500,000
抜き刷り代	¥20,000	
諸会議費		¥60,000
交通費		¥250,000
全国大会開催費		¥400,000
会誌印刷費		¥400,000
幹事手当		¥200,000
会誌売上	¥100,000	
郵送費		¥70,000
学会費	¥2,050,000	
合計	¥5,564,613	¥1,890,000
差引:繰越金	¥3,674,613	

1 2013年度決算報告案による。 2 セミナー等開催費を含む。

3 見積額による。